

# 宮の沢 ミライ☆ラボ

2025

第2回ワークショップ

2025(令和7)年12月11日(木)

# 今年度のスケジュール(予定)

第1回

8/7(木) 18:30~20:30

これまでの取組の振り返りから、まちづくりの“テーマ”を検討

第2回

12/11(木) 18:30~20:30

まちづくり指針を実現する“次のアクション”を考えよう

本日

第3回

2月ごろ予定

まちづくり指針に関する内容・次年度に向けた取組の検討(想定)

宮の沢地区のまちづくり指針の策定

# 本日のプログラム

18:30 — 1. 開会・あいさつ(5分)

18:35 — 2. 情報提供(20分)

- 宮の沢ミライ☆ラボについて
- 前回のふり返し
- アンケート結果

18:55 — 3. 意見交換(70分)

- まちづくり指針を実現する“次のアクション”を考えよう

20:05 — 4. 発表・まとめ(25分)

20:30 — 5. 閉会



# 宮の沢ミライ☆ラボ について



西区環境キャラクター  
さんかくやまべエ

# 「宮の沢」まちづくり通信

令和7年2月発行

宮の沢ミライ☆ラボ(ワークショップ、まち歩き)の  
途中結果と次回ワークショップについてお知らせします!

## 宮の沢エリア全体の『まちづくり指針』策定プロジェクトがスタート!

宮の沢ミライ☆ラボは2023年度に始まり、昨年度は「歩行者にとって居心地がよく、歩きたくなるまちづくり」をテーマに、「宮の沢未来ビジョン」を作成しました。

今年度からは宮の沢エリア全体のまちづくりの方向性を示す『まちづくり指針』の策定を始めています。

2023(令和5)年度

- ・意見交換、フィールドワークを経て、“居心地が良く歩きたくなる”「宮の沢未来ビジョン」を作成



宮の沢未来ビジョン

2024(令和6)年度

- ・「宮の沢未来ビジョン」も踏まえ、宮の沢全体における『まちづくり指針づくり』を開始



ワークショップ



まち歩き

2025(令和7)年度

- ・引き続き、『まちづくり指針』の内容を検討
- ・2025年度末に策定予定



まちづくり指針のイメージ  
(画像は、平岸まちづくり指針)

### まちづくり指針って?

- ・「まちでの活動や暮らしをより良く」していくための「まちづくりの方向性」を示す計画となります。
- ・例えば、景観のルールや楽しい活動をみんなで行うための取組を整理する予定です。

# 宮の沢まちづくり指針とは？

- 2023(令和5)年度に策定した“居心地がよく歩きたくなる”「宮の沢未来ビジョン」を踏まえて、オープンスペースの活用、住み心地、自然との親しみなど、「まちでの活動や暮らしを楽しく」していくための方向性を示す計画です。
- そのため、例えば**景観のルール**や**楽しい活動をみんなですすめていくための活動**などの取組を整理する予定です。

○歩きたくなる居心地がよいまちになる

(昨年度からの継続検討)

○住民の皆さんがさらに住みやすいまちになる

○観光で訪れた人がまたきたくなるまちになる

○住む人も来街者もまちに出るのが楽しくなる .etc



画像：  
平岸まちづくり指針

## 前回(8月7日)のふり返り

- まちづくりの重要なテーマについて検討しました。
- 継続的にまちづくり活動を行なっていくための体制や関わり方についてのアイデアも出されました。



## こんな未来をめざしたい！



広場  
スペース  
あつまる  
たまり



- ちえりあ前広場をもっと活用
- 子ども向けの活動
- 定期的なイベントウィークを設ける
- 公園の使い方ルール、駐車場などの整備



水とみどり  
景観  
住まいのまわり



- 生態調査(いきもの発見)、子ども向けの活動
- 花づくり、緑づくりのソフトの活動



つながり  
道沿い  
にぎわい  
まちなみ



- 歴史やみどりを活かしたまち歩き(生きがいつくり)
- カフェやお店(商業機能)を集積していく
- 歴史を語るサイン、統一感のある案内

## まちづくりの推進

### 若い世代にも参画

- 高校生や大学生に手伝っていただき、**サポーター**になってもらう
- こうした年代に情報発信していく
- セミナー、ワークショップを実施して**仲間をみつめていく**

### まちづくりを推進する体制

- 統括する組織が必要ではないか(企業や行政)
- 相談窓口が必要
  - 収益を出して、プランターを修繕
- 協議会に参画している企業・団体に協力
- 統括役が旗振りして、そこに地元のサークル団体などが参画

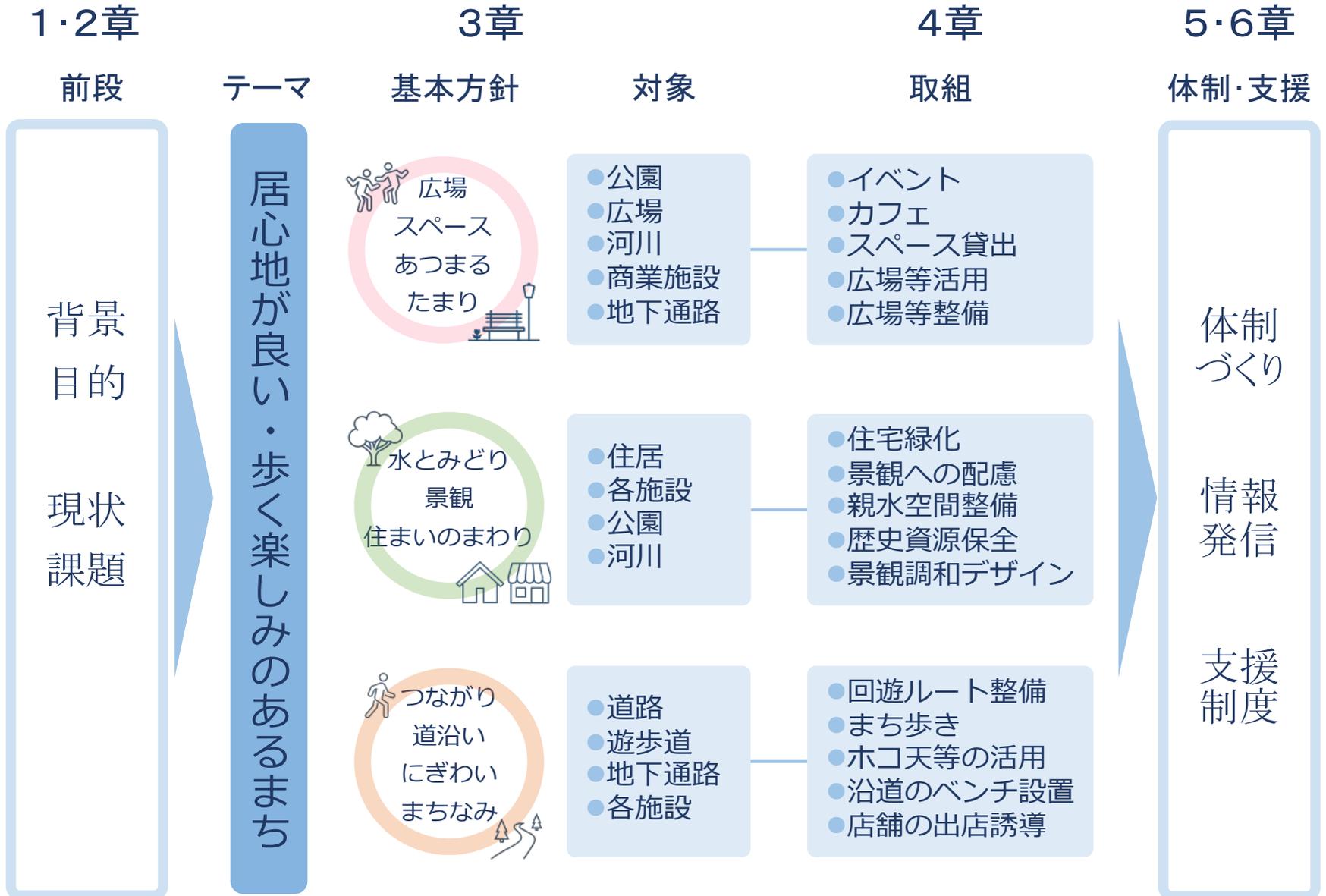
### まちづくりを推進する場（宮の沢会議）

- まちづくりの**拠点**をつくっていく
  - 自由なアイデアを出して、**まずはやってみる**
  - ここで、こどもイベントなどを考えてやろう
  - **ワークショップや協議**をしていく場が必要
- 情報や活動の**拠点**をつくっていく



# 宮の沢まちづくり指針 (検討中の骨子案)

# 「まちづくり指針」の構成・体系(案)



# 第1章

## まちづくり指針策定の背景・目的

# 「宮の沢」の位置付け

札幌市のまちづくりにおいて、大事な**拠点**として位置付け

## 札幌市まちづくり戦略ビジョン



地下鉄駅周辺などの利便性の高い地域(17箇所)を**地域交流拠点**として定めている。

## 札幌市都市計画マスタープラン



まちづくりの機運を高めていく**拠点**

- 町内会や商工会、地域の任意団体などが行うまちづくりの継続な取組を通じ、地域コミュニティや商店街などの活性化を図ることにより、まちづくりの機運を高める。



# 宮の沢のこれまでの主な取組

2017(平成29)年度

コンサタウンふれあい祭り

宮の沢まちづくり協議会が発足  
**宮の沢まちづくり計画**

宮の沢  
ミライ☆ラボ

てくてく宮の沢マップ  
ピクニック・フェス宮の沢 など

まちづくりのアンケート  
夏・冬の公園を活用した実証実験

2023(令和5)年度

居心地よく歩きたくなるまちづくりを考える  
**宮の沢「未来ビジョン」**

宮の沢  
ミライ☆ラボ  
2024-2025

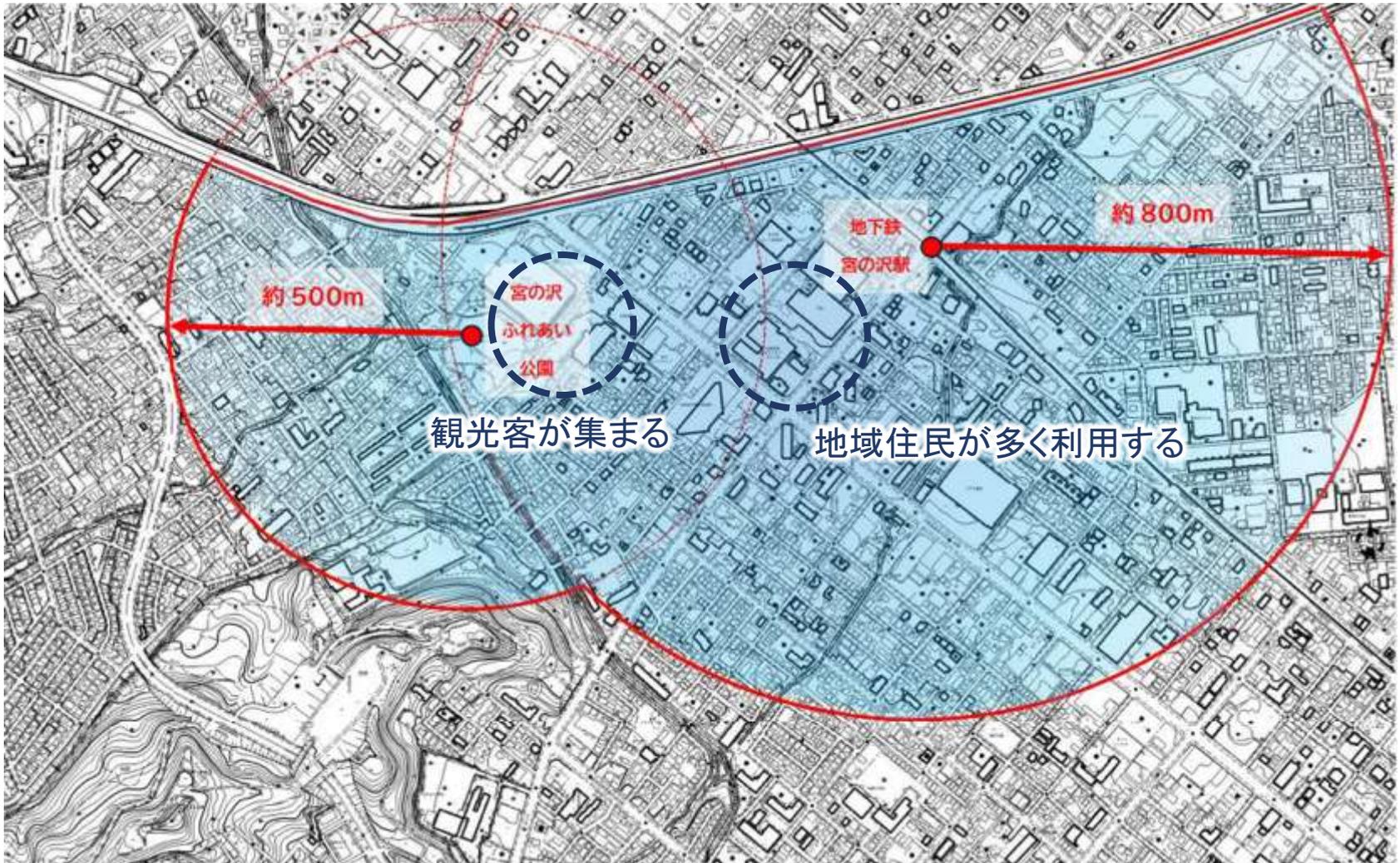
コンサふれあい通での実験  
ちえりあ広場での実験 など

2024(令和6)年度～2025(令和7)年度

宮の沢エリア全体のまちづくりの取組やルール  
**「まちづくり指針」づくり** ※策定は令和7年度末



# 対象となるエリア(検討段階)



# 第2章

## 宮の沢エリアの現状・課題

都市と自然の  
のバランス



宮の沢ふれあい公園



中の川公園

空間を活用  
した賑わい



コンサふれあい通り(ホコ天)



ちえりあ前広場(マルシェ)



歴史と文化



手稲記念館



時習館記念碑



上手稲神社

# 宮の沢での最近の取組

コンサふれあい通で  
歩行者天国

ふれあい公園の  
活用実験(夏・冬)

ピクニック・フェスの実施  
(ちえりあ、白い恋人パークなど)

ちえりあ前広場で賑わい  
づくりの実証実験



公共的空間を活用した交流イベントなどが開催  
道路空間を歩行者天国化した滞在空間づくりの社会実験

# 宮の沢エリアの主な課題

- ① 主要な施設や資源間をつなぐ回遊性の向上が必要 ★
- ② オープンスペースの使いこなしが必要 ★
- ③ 1階沿道の“にぎわい形成”が必要 ★
- ④ 花や緑による連続した景観づくりが必要
- ⑤ 冬でも“歩きやすく・滞在しやすい環境づくり”が必要
- ⑥ 観光客も含む来街者も居住者双方が、居心地良い仕組みが必要
- ⑦ 点在する魅力資源を“見える化(情報発信)”することが必要
- ⑧ 多様な主体が“連携・協働できる仕組み(体制づくりや支援)”が必要



## ②オープンスペースの“使いこなし”が必要



### ③1階沿道の“にぎわい形成”が必要



建物の1階部分の中が屋外から見える工夫



#### 琴似の目指すイメージ

- 琴似・栄町通に面する建築物の低層部
- 商業機能を連続させて、歩行者によるにぎわいをつくる

## 第3・4章

まちづくりのテーマ・基本方針

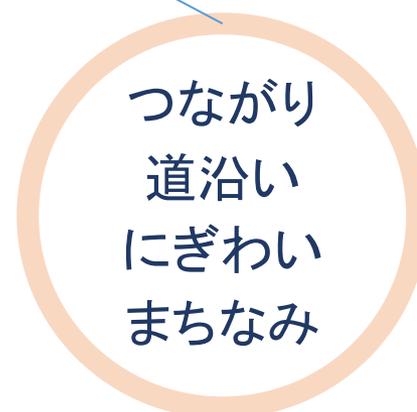
3つ基本方針に沿った取組

# まちづくりのテーマと基本方針の体系

まちづくりのテーマ

居心地が良い・歩く楽しみのあるまち

3つの基本方針



# まちづくりのテーマ

## 居心地が良い・歩く楽しみのあるまち



※令和5年度に地域の皆さんからいただいた意見をもとに作成した「宮の沢未来ビジョン」の図

# 基本方針1



広場  
スペース  
あつまる  
たまり

だれでも立ち寄れるオープンカフェ

カフェや店舗と連携したマルシェ

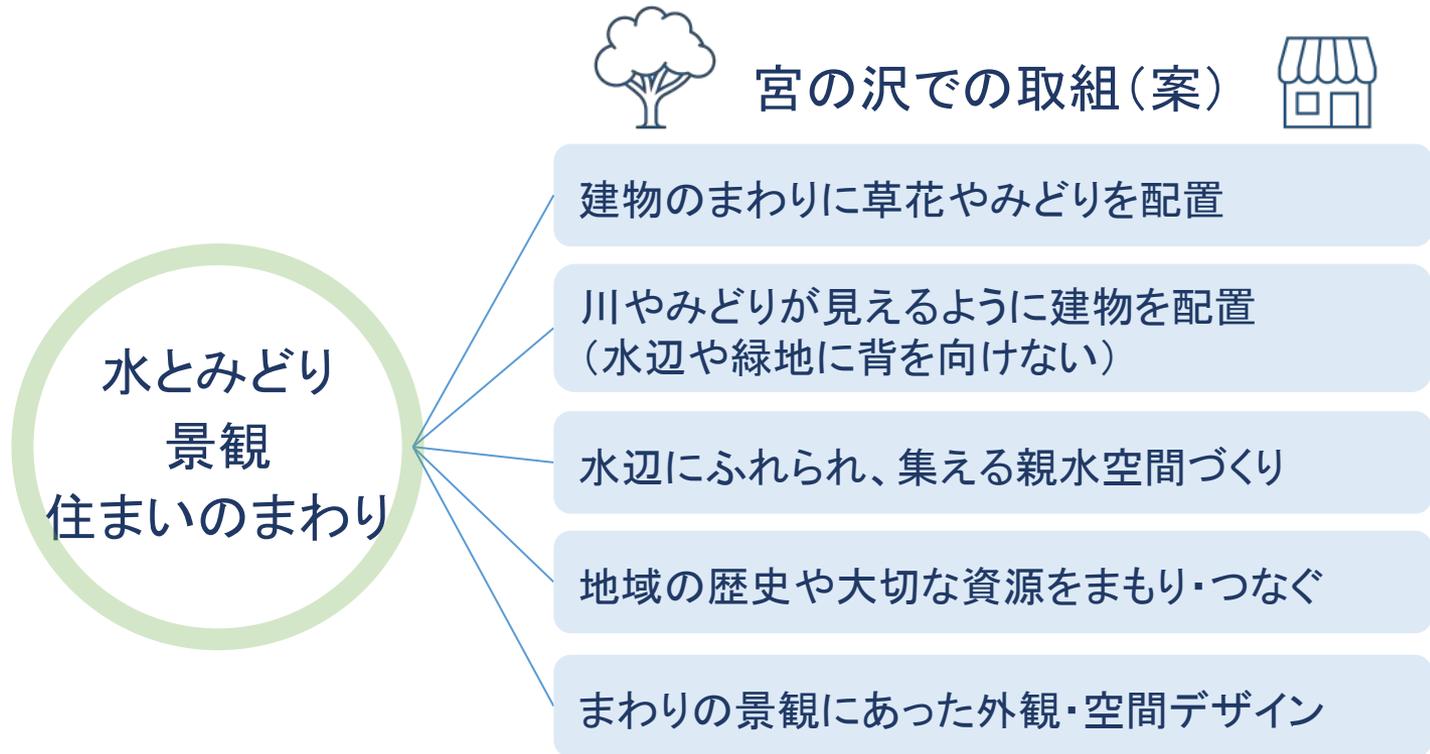
オープンスペースの貸し出し

冬を楽しむアクティビティ、アートづくり

いまの公園をもっと活用

居心地の広場・公園(公共的空間)の維持・整備

# 基本方針2



# 基本方針3



## 宮の沢での取組(案)



つながり  
道沿い  
にぎわい  
まちなみ

建物の1階はガラス張りなどのデザイン  
(外から屋内のにぎわいが見える)

にぎわいを生むような、お店などの出店誘導  
(建物の1階)

花やみどり、あかりなどの演出で、歩いて楽しい通りづくり

ベンチやテーブルでひと息つける通りづくり

歩行者天国  
(まわりの施設やイベントと一緒に楽しむ活用)

回遊ルートづくりとまち歩き企画

第5・6章  
まちづくりの推進  
推進に向けた支援制度

# まちづくりの推進に向けた体制

## 宮の沢まちづくり協議会

宮の沢に関する企業や団体がネットワークを組む組織

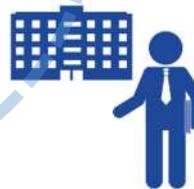


宮の沢の  
まちづくり



## 地域住民や来街者

アンケート(後述)で、約65名の方が、宮の沢のまちづくり活動の中で「何かサポートすることができる」と回答



## 行政

公共施設、公園・広場、河川等を管理する札幌市など





# アンケート結果の概要

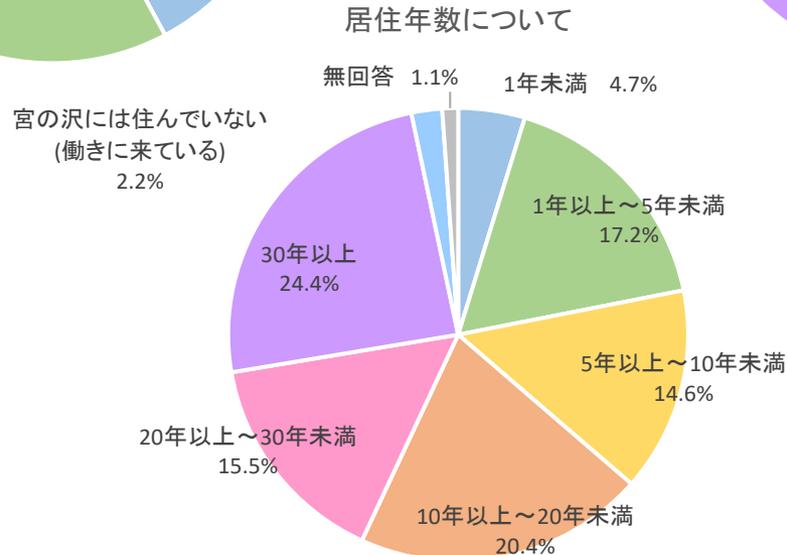
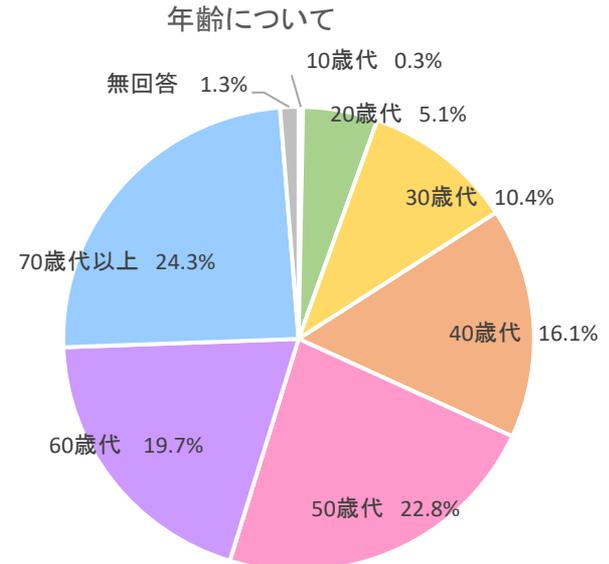
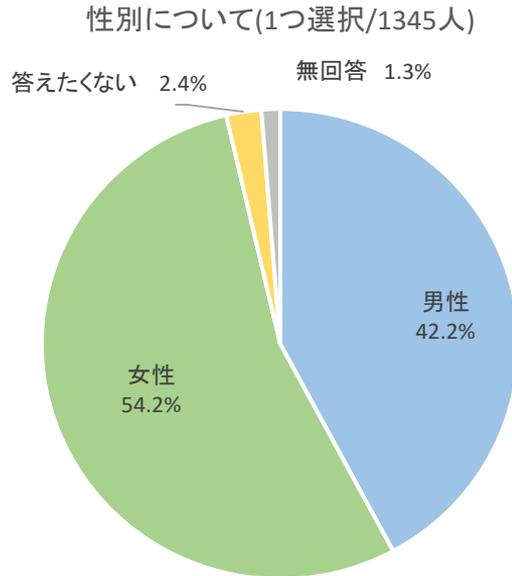
## アンケート結果(概要)

- 宮の沢まちづくり指針策定に向けた考えや今後の方向性を住民の皆様と一緒に検討するために、ご意見をお聞かせいただく目的で実施しました。

調査対象	宮の沢エリアに居住している全世帯の住民 6,300世帯 my groove登録者
調査期間	2025年10月14日～11月7日
回収件数	1,345件 回収率:22% (郵送:726件 WEB:634件)

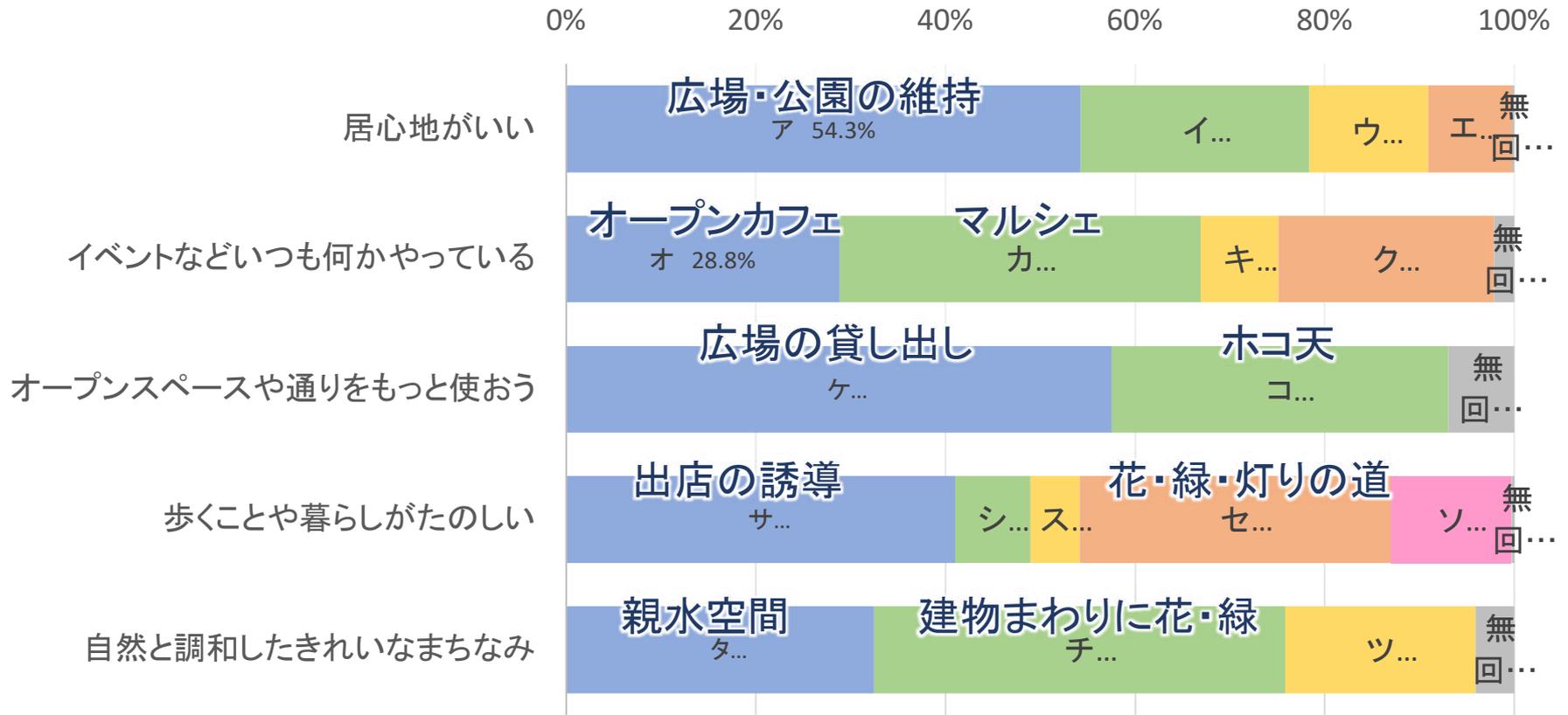
# アンケート結果の概要について

## ●回答者の属性(性別・年齢・居住年数)



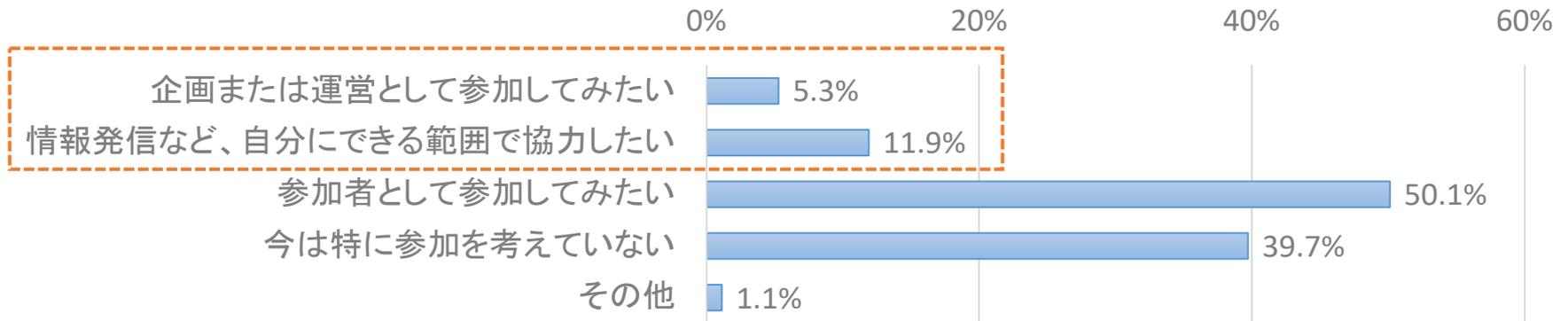
## ● 将来の宮の沢に必要な空間・機能

将来に向けて必要だと思う空間や機能について(各項目1つ選択/1345人)



# 企画や運営に関わりたい できる範囲で活動をサポートしたい方

問8 地域活動への参加意向について(すべて選択/1345人)



約 **65** 名

※任意でお名前・ご連絡を記入いただいた方の人数

# 自由意見(抜粋)

## ●地域の魅力・特長

- 都会の便利さと、自然の気持ちよさが近くにあるところが魅力
- 日々の散歩や子どもの遊びが楽しめる、ゆったりした雰囲気が魅力
- 地域の顔になるスポットがあって、まちの個性を感じられるのが魅力

## ●まちづくりの課題

- 歩きやすさや安全の面で、もう少し整えていきたいところがある
- お店や飲食の選択肢がもう少し増えると嬉しい
- 公園・川・自然が活きるよう、手入れや使い方の工夫が必要
- 高齢者や子育て世代が動きやすい交通の工夫が必要
- 観光と暮らしのバランスをとる工夫が必要

## ●今後のまちづくりの方向性

- 「歩いて気持ちいいまち」を目指して環境を整える
- 公園や中の河川など、宮の沢らしい自然をもっと楽しめるようにする
- 地域の暮らしを支えるお店やにぎわいを、少しずつ育てていく
- 観光のにぎわいと住みよさが両立するまちをつくる

など



70分

# グループでの意見交換

まちづくり指針を実現する  
“次のアクション”を考えよう

# 取り組んでいきたい・関わっていききたいアクションは？

- 宮の沢のまちの未来を描いてきました。
- 実現していくための具体的なプロジェクトに落とし込んでいきましょう。

自分たちは  
なにができるか・  
何からやるか

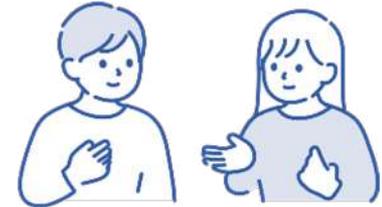
## アクション = まちづくりの実践

- これならやってみたい！
- こういう活動なら自分も関わりたい！
- 一緒に活動してみたい！

を出し合いましょう

# これまでの意見や考えを踏まえると、 例えばこんなアクション

- 手稲記念館前にベンチを置こう！
- カフェも楽しそう
- 通りの名前、広場の名前を考えよう！
- フリーマーケットやってみたい
- 手稲記念館～神社～白い恋人パークまでのガイド付きまち歩き
- ちえりあ～白い恋人パークまで花でつなごう！



# 住民のアイデアから実践したプロジェクト(十勝清水町)

- 住民ワークショップでだされたアイデアから、有志が集まり、図書館をもつと楽しんでもらうために、「図書館をマンガ喫茶」にプロジェクトを実践



# 冬の期間のにぎわいづくり(宮の沢 ふれあい公園)

- 公園などの既存スペースを活用するとともに、外出が遠のく、冬季期間にイベントを実施
- 宮の沢に関わりのある企業などとも連携して実施



# 公園を利用したにぎわいづくり(中島公園)

- 屋外飲食スペースやまち歩き、ヨガといったコンテンツを公園内で実施



# ガイド付きのまち歩き(札幌市)

札幌市観光人材育成事業から一般社団法人サッポロコンシェルジュ設立



ぶらり手帖を活かしたガイド付きのまち歩き



「ビール」をテーマにしたまち歩きコンテンツも

# エリアのにぎわいづくり(千歳市)

- 千歳市のグリーンベルトを活用したまちなかにぎわい実証実験
- マルシェなどで利用できるワゴンなどを事務局が用意して実施



# 定期的なにげわいづくり(加古川市)

- マルシェから、オセロなどの簡単なコンテンツを用意
- 滞在したくなるようなイスなどの整備



# ご近所さんからまちづくり(戸田市)

- 隣り合った三軒以上の人たちが自主的に植栽や花壇づくり、イルミネーションの設置、外壁塗装などの景観づくりを協力して行う協定を結ぶ
- その協定を戸田市が認定した場合、その景観づくりにかかる費用の一部を補助



# まち全体でのにぎわいづくり(スウェーデン・水戸市)

- スウェーデンでは、まちなかでチェスを楽しむことができ、にぎわいも創出
- 日本でも子どもも参加できるオセロなどで、類似のイベントとしての取組も存在



# 宮の沢ミライ☆ラボ LINEオープンチャット

- 宮の沢のまちづくりを盛り上げていくため、興味・関心のある住民の皆さんと“ゆるく・気軽につなぐ”情報ひろばを始めました。
- アクションの具体化に向けた情報交換、ワークショップの案内などを投稿していくことを想定しています。

※安心して参加できる場づくりのため、誹謗中傷などの行為はお控えください。

